



# 学校だより

川越市立山田中学校

令和5年6月1日 発行

## 学校教育目標『人を尊び 本気で学び たくましく』

～ふるさと川越山田に自信と誇りを持てる生徒の育成～

### 勝敗笑美戦

校長 守岡 信一

体育祭前日、校庭の隅を数センチほどのアマガエルが散歩しているところに出会いました。その数メートル先にある田では苗が規則正しく並び、昼間でもカエルの合唱が聞こえます。初夏を感じさせる水を渡る田んぼの風はとても爽やかで、目や肌に優しく、生徒たちの心も潤してくれているようです。1学期も半ばを過ぎました。1学期末には、今は草丈の低い苗が立派な稲となり、学校周辺を一面の緑色にします。生徒たちにはこの美しい山田の地で、仲間とともにさらに自分の可能性を広げてほしいと願っています。

5月27日（土）、盛大に体育祭を開催することができました。一昨年度は、まん延防止等重点措置の適用期間中、昨年度はマスク着用と種目間の手洗い、手指消毒などの感染症対策を行いながらの開催でしたが、今年度は、ご来賓の皆様もお迎えし、通常に近い形での開催となりました。

今年の体育祭のスローガンは「勝敗笑美戦～仲間と勝利を掴み取れ～」でした。勝利を目指しクラスや団の仲間と協力する、結果だけではなく過程も楽しむ、など様々な挑戦を想起させるこのスローガンは、シンプルであると同時にとても美しいものです。（※「勝敗笑美戦」の読み方は「かっぱえびせん」）

開会式では生徒たちに、「真剣に、最後まで諦めない」「競技には勝ち負けがあるが相手にも大きな声援を」という願いを私は伝えました。最後まで諦めない姿は感動を与え、本気で競い合うことができるのは仲間の存在があってこそ、そして支えてくれている保護者や地域の方々のおかげで体育祭が開催できるということ、そのような人たちへの感謝の気持ちを忘れないでほしいという私の想いを伝えました。開会式での鈴木団長、植田団長、松本団長の力強い選手宣誓、一糸乱れぬ全校ラジオ体操はとても素晴らしいものでした。各競技も見応えがありました。「台風の目」では回転に振り回されそうになりながらも、できるだけ小さく回ろうと並び方を工夫していました。縄跳びをしながら50mを走る「縄跳び走」では、走ることが得意な生徒でもゴールするのに手間取ってしまうこともあります。そのような選手たちにも、応援席の仲間や保護者の方々から温かい拍手が送られていたことも素敵だなあと感じました。クラスの代表が競い合う「色別対抗リレー」では、やはり3年生のスピードと力強さが印象に残りました。「全員リレー」はクラスの団結の結晶のような競技です。この種目に勝利するために、クラスで一丸となり、何度も話し合いを重ね、バトンの練習してきたはずですが、疲れていても歯を食いしばり、最後まで諦めずに全力で走る生徒たちの姿に私も目頭が熱くなりました。また「クラス対抗大縄跳び」では担任を含め全員で大きな声を出し、心を合わせ、励まし合いながら最後の一秒まで全力で跳び続けました。まさに、「真剣に、最後まで諦めない」山中生のすばらしい姿でした。本校の生徒たちは、仲間との絆を確実に育みながら、心豊かに成長しています。その様子が体育祭を通して、少しでもお伝えできたいと思います。今後も、生徒一人一人がさらに豊かに成長するため、家庭・学校・地域で想いを共有しながら教育活動を前に進めていきたいと思っています。皆様方のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。